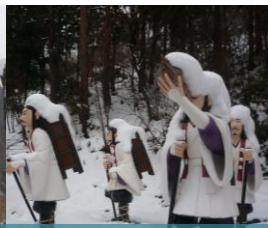




京都府福知山市  
日本の鬼の交流博物館



酒吞童子退治に向かう  
源頼光とその一行



酒吞童子が住んだ  
大江山連峰



酒吞童子像  
(イメージ)



雷神となった道真を祀る  
北野天満宮

“鬼は外



## 鬼退治



福は内”

そもそも【鬼】という字を「オニ」とよますようになったのは平安時代になってからで、それ以前は「モノ」とか「シコ」とよませました。問題は「モノ」とは靈魂的存在を指すのか、それとも単に物体を指すのかです。西洋と違い、日本では例えば木などの天然素材で作った人工物でも長く使い込んだものには靈魂が宿る（「付喪神」という発想があり、また、一般的に靈魂を示す「モノの怪」という場合、「物」の字をあてることから、厳密にこだわる必要はないでしょう。要するに奈良時代以前から【鬼】を「モノ」とよませようが、明らかに靈魂的意味を帯びています。

しかし、今日、私たちが【鬼】を「オニ」とよむ時、邪鬼とか餓鬼とか、靈魂と言っても悪一辺倒の怪物をイメージします。その悪者イメージは平安時代における仏教や陰陽道の発展の中で熟成されたというのが定説であり、また、「オニ」の音源は「隠（オン）」であることは、人が亡くなることを「鬼籍に入る」と表現する他、「お隠れになる」とも表現することから見ても間違いのないでしょう。要するに「オニ」には常に死のイメージが付きまといまふ。しかも【鬼】は単なる死ではなく、隠れるのであれば再び姿を現してこそ存在を認められることから、同時に再生の意味も帯びています。よって平安時代に藤原氏による陰謀の結果、大宰府で悶死したとされる菅原道真は、怨霊（雷神）となって現世に復讐する【鬼】となったと考えられたからこそ、朝廷は947年に彼の霊を鎮めるべく、現在の北野天満宮の元となった社殿を造営しました。

ところで京都府福知山市には[酒吞童子]という【鬼】が住んでいたとの伝承がある[大江山]連峰があります。おそらく酒吞童子とは古くから鉱山として名高いこの山一帯に住んだ渡来系の金工たちか、はたまた朝廷に従わないアウトロー的な山賊をモチーフに創作されたものでしょう。

一方、四天王を引き連れて酒吞童子を討ちに行く実在の人物の源頼光もまた雷神をイメージさせる「雷公」の当て字が使われたり、四天王の一人坂田金時も既に成人であったにもかかわらず、童形だったのには理由があります。すなわち人間ではない【鬼】を退治する側も同等のパワーを持たねばならず、しばしば【鬼】が童子の名で登場するのは、大人とはみなされない子供（童子）は人間と神の境界に位置する存在として強力な靈力があると考えられていたことによります。要するに、討たれる酒吞童子も【鬼】なら、討つ源頼光も坂田金時もまた同じ【鬼】だったのです。『桃太郎』などの御伽話の中で、【鬼】退治に行くのが決まって子供であることも同じ理由と言えます。

「【鬼】を退治できるのは【鬼】」。だからこそ、大東亜戦争末期、多くの日本軍将兵は、「死して護国の【鬼】とやらん」として散華していきましたが、靈魂として再生してまでも彼らが守ろうとした祖国日本の敵は紛れもなく「鬼畜」米英でした。

(参考文献：『鬼と天皇』)

### ～オレンジプラン（認知症施策5ヵ年計画）～



【理事長 北嶋勇志】

※昨年12月25日、  
クリスマス会にて

厚生労働省は平成24年9月6日、認知症施策推進5ヵ年計画を公表しました。認知症が疑われる早い段階から対応することで入院・入所を回避し、在宅生活の維持を図ることを目的としています。平成25年度も私たちは地域の介護予防推進に貢献していきたいと思っております。そのような思いの中で、西宮市のみより広場事業の協力要請が西宮市高齢福祉課よりありました。この事業の実施に際して、特に私たちが協力出来るのは、公民館や地域の集会所での『認知症予防講座』に対して講師を派遣することです。私たちの施設には現在4名の認知症ケア専門士が勤務しています。「是非有資格者を派遣して欲しい」と西宮市から依頼があり、快諾させて頂きました。今後も地域の福祉に更なる貢献をしてみたいと思っております。

- ①ノロウイルスは下痢、嘔吐を主な症状とする胃腸炎ですが、幅広い年齢層に罹患します。
- ②ノロウイルスはカキ等の二枚貝の生食による食中毒がよく知られていますが、僅かなウイルスが口の中に入るだけでも感染するため、人から人への感染力が非常に強いウイルスです。
- ③乳児から成人まで幅広く感染します。嘔気、嘔吐、下痢が主な症状で一般に症状は軽症ですが、高齢者や免疫力が低下した乳児では重症化して死亡することがあります。
- ④保育所、幼稚園、小学校などにいる小児や、病院、老人介護施設などにいる成人でも集団発生が見られることがあり、注意が必要です。

### ○感染経路

ノロウイルスの感染はほとんどが経口感染（口から体内に入り感染）であり、次のような経路があると考えられています。

- (1)ウイルスに汚染された貝類を、生あるいは十分に加熱しないで食べた場合。
- (2)調理台や調理器具がウイルスに汚染されていたり、ウイルスに感染した人が食品を取り扱うことにより、二次的に汚染された食品を食べた場合。
- (3)感染者を看病したり、患者の吐物、便などから直接感染する人・人（ひとからひとへ）間の感染。

### ○症状

- (1)潜伏期間（感染から発症までの時間）は 24 時間～48 時間で、主症状は吐き気・嘔吐・下痢・腹痛で、発熱は軽度です。
- (2)通常、これらの症状が 1～2 日続いた後治癒し、後遺症もありません。
- (3)感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。
- (4)激しい嘔吐や下痢により、急激に水分を失いますので、特に乳幼児や高齢者では脱水症状に注意する必要があります。

### ○治療方法

- (1)現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。
- (2)脱水を防ぐため、市販のイオン飲料等で水分を補給する必要があります。
- (3)飲んでも吐いてしまう場合は、早めに医療機関を受診してください。
- (4)下痢止めは、病気の回復を遅らせることがあるので使用しません。

### ○予防方法

- (1)日頃からの予防方法としては、食事前やトイレの後などにおいて、石鹸を使ってしっかり手洗いを行うことが大切です。
- (2)食品中のウイルスは加熱により感染性を無くすることができます。食品の中心温度が 85℃1 分以上になるようにしっかりと熱を通して食べましょう。
- (3)下痢や嘔吐などの症状がある人は、食品を扱う作業を控えましょう。

### ○二次感染を防ぐために

- (1)患者の下痢便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれていますので、その処理には十分注意する必要があります。乾燥した嘔吐物や下痢便のかけらが風に乗って舞い上がり、傍を通った人が吸い込んだり、その人の体に付着し最終的に飲み込むことによって感染する場合があります。
- (2)下痢の症状がなくなった後も、患者の便にはしばらくウイルスの排出が続くと考えられますので、症状が治まっても安心できません。汚物を処理する際には使い捨ての手袋をし、用便後や調理前の手洗いを徹底しましょう。
- (3)殺菌には熱湯あるいは 0.05%～0.1%の次亜鉛素酸ナトリウムを使用します。アルコールや逆性石鹸にはあまり殺菌効果はありません。
- (4)調理器具、衣類、タオル等は熱湯（85℃以上）で 1 分以上の加熱が有効です。
- (5)市販の塩素系漂白剤（ハイター等）は 50 倍～100 倍に薄めて使用します。（例えば現液 10 ミリリットルを 1 リットルの水で薄める）

### ○汚物の処理方法

- (1)患者の便や吐物を処理する時は、使い捨ての手袋とマスクを着用します。
- (2)便や嘔吐物はペーパータオル等で拭き取り、ビニール袋にいられます。



セントポーリアでは全介護職員を対象に昨年 12 月に医務課主導で「ノロ・ウイルス」研修を実施しています。

## オリゴ糖の効果

管理栄養士  
前田佐江子



オリゴ糖は単糖が少数結合した炭水化物の一種です。オリゴとは「少ない」という意味で、少糖ともいいます。オリゴ糖にはたくさんの種類があり、それぞれの機能性にわずかながらに違いはあります。しかし、カロリーが低いといったことや腸内細菌のバランスをよくして腸内環境を整えるといった効果はすべてのオリゴ糖に共通しています。

セントポーリア愛の郷では便秘改善を目的に 9 月より「乳果オリゴ糖」を導入し、ご入居者全員に摂っていただいています。「乳果オリゴ糖」はラクトスクロースともよばれ、天然のサトウキビに含まれるショ糖と牛乳に含まれる乳糖を原料にして生まれたオリゴ糖です。難消化性で高いビフィズス菌増殖機能をもっています。効果にも個人差がありますので、医務課によりオリゴ糖の量や下剤の調整を行っています。便秘が改善された方、下剤の使用が減った方など少しずつではありますがよい結果がでていきます。

### ■「乳果オリゴ糖」の機能

- ・整腸効果（便通改善）
- ・ビフィズス菌増殖活性（腸内腐敗産物生成抑制）
- ・難消化性
- ・低 GI（血糖値を上げない）
- ・免疫力強化
- ・ミネラル吸収促進（骨密度強化）
- ・脂肪吸収抑制

乳果オリゴ糖には上記の効果が確認されています。オリゴ糖の効果を十分活かすために大切なことは適切な水分摂取をすること、また、お腹の調子を整える食品を積極的に取り入れることです。ご入居者にとっては便秘が改善されることは生活の質の向上にもつながります。今後も、積極的に便秘改善に取り組んでいきます。

## 音楽療法チームより



### 音楽療法士

柿崎真吾 中原大輔  
大坪拓末 福井遥奈

### ～音楽療法と記録活動①～

「今回はセントポーリア愛の郷での音楽療法の記録活動についてご紹介したいと思います。私たちは音楽療法セッションを行った後、ご入居者の様子や対象となる行動を記録しています。記録は主にビデオカメラを用いて行っており、セラピストのアプローチに対するご入居者の反応が鮮明に記録されます。これを後で見かえして記録用紙に記入し評価を行っています。記録活動の利点は過去の記録映像を通して、ご入居者の普段の様子との比較も行うことができます。療法の成果と断定するかは別にして、担当の介護士から、「最近穏やかな表情でおられる時間が多くなった」、「居室にこもりがちだったのによく部屋から出られるようになった」、「いろいろな施設内の行事に積極的に参加されるようになった」などと言われると、嬉しくなるのも事実です。

# 介護保険制度について⑥

今回は介護サービス事業でよく登場する用語に関して説明します。

## (1) 居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所のケアマネージャー（介護支援専門員）がご利用される方やご家族の生活の意向を聞いたうえで、ケアプラン（居宅サービス計画）を立案したり、個々のサービス事業所との調整を行います。居住地のどこに事業所があるかは市町村の介護保険課等の窓口で相談することもできます。

## (2) ケアプラン

ご利用される方の心身の状態や居住環境、家庭の状況などに応じて、様々なサービスを組合せてその方の意向に沿った生活が出来るように事前にケアプランを作成することになっています。プランの作成費用は全額介護保険から支給されますので、ご利用者の自己負担はありません。毎月末には利用の実績確認と翌月の利用予定の確認も行います（その時に利用料の確認もします）。自分でケアプランを作成することもできますが、市町村に届出をする必要があります。

## (3) 契約

利用するサービスが決まったら、個々の事業者ごとにサービス内容を受けて、内容が希望に沿ったものであれば利用契約を結びます。

## 2月の行事

※予定は変更になる場合があります。



- |          |          |
|----------|----------|
| 二十八日 (木) | ピアノ      |
| 二十一日 (木) | 書道       |
| 二十日 (水)  | 絵手紙      |
| 十九日 (火)  | ネイルアート   |
| 十六日 (土)  | 化粧       |
| 十五日 (金)  | お楽しみ会    |
| 十四日 (木)  | なかよしグループ |
| 十二日 (火)  | 折り紙      |
| 六日 (水)   | お誕生日会    |
| 三日 (日)   | 節分会      |

### 2月の行事

12月・1月にご協力いただいたボランティアの皆様ご協力ありがとうございました。

(敬称は省略させていただきます)

- |          |  |
|----------|--|
| 折り紙・尺八演奏 | : 廣瀬公子   |
| 絵手紙      | : 中川孝一   |
| ピアノ      | : 重松久代   |
| 書道       | : 溝口佳子   |
| 化粧       | : 関谷鈴子   |
| お誕生日会    | : 市川ご夫妻<br>北嶋庸子  |
| なかよしグループ | : 平原多加子、仲村枝、辻下清一<br>常見好子、福吉フジコ、平本弘子<br>渡辺夏子、川原シナ子、西村敦子 |
| ネイルアート   | : 池田香織 (三田駅 Nails-Khao)                                |
| お楽しみ会    | : 中南正、中南ヒロ子、北原節子<br>熊田寿恵、熊田俊明、津村八千代                    |
| マンドリン演奏  | : 北神戸マンドリンクラブの皆様                                       |



## お楽しみ会

12月21日 (金)

中南正さんがクリスマスバージョンということで、サンタの衣装で名曲『女の道』を歌い上げました。『女の道』と言えば、宮史郎とびんからトリオが昭和47(1972)年に日本コロムビアから出し、売り上げ300万枚を超える大ヒット曲となった演歌ですが、もともとは自主制作で300枚をプレスして有線放送で流したことがレコードデビューのきっかけとなりました。その宮史郎も昨年11月に他界されました。今回は全13曲。アンコール曲は熊田俊明さんが歌われた『風雪流れ旅』でした。



昭和青春譚 一八三六(昭和十一年)年  
王城の叛逆者 小説二・二六事件【1】

### 昭和維新二

「磯部、心配するな。俺はやる。但し約束してくれ。起つと決めたなら、最後までやり遂げる。いいな。」陸士同期の気安さで安藤輝三がこう言った昭和十一年二月二十二日から事実上、二・二六事件は始まったと言つてよい。

安藤大尉が所属する第一師団(東京)の満州への派遣が発表されたのは、前年の十二月。満州へ渡つてしまへば事を起す機会は二度と来ない。それでも熱心に決起を促す磯部に対して安藤は「ずつと首を縦に振らなかつた。安藤には決起に躊躇せざるを得ない理由があつた。」

安藤大尉は、「安藤が起つて歩三が起つ」と言われたほど第一師団歩兵第三連隊中、人望を集める中隊長として名を知られていた。安藤の人望を物語る話はいくらでもある。後の話になるが、決起に参加した諸隊が次々と解散していく中で、唯一、最後までほとんど脱走兵を出さずに一丸として抗戦する気構えを見せたのが安藤中隊であつた。結局二・二六事件は安藤の決断で始まつて、安藤の決断で終焉する。

「既に軍籍を離れ、部下を持たない磯部は決起を急ぐが、守るべきものがない磯部と俺は違ふ。磯部は、『農村出身の兵の身内が苦界に身を沈めている。だから俺たちが農村救済のために立ち上がるんだ』と俺に言う。だが、成算なしに決起して万が一失敗した場合、兵は逆賊として討伐されてしまう。」

安藤は何度も胸の中でこう呟いた。しかし、何度かこうが、決起に代わる方策を見出せなかつた。「何もしなければ何も変わらない」これこそが安藤を最後に突き動かした決起の理由だつた。

△続く▽

地域探訪⑱

地域の名刹 / 石籠寺 (兵庫県氷上郡山南町)



石籠寺仁王門



仁王門吽形像

仁王門阿形像



石籠寺は丹波もみじ三山の一つ



石籠寺はもともとここにあった

石籠寺の伽藍はかつて山中に位置していた

中国自動車道滝野・社インターから国道175号線を車で30分ほど北上した場所に[石籠寺]があります。

当山は用明天皇の587年に聖徳太子により開基されたと伝わり、現在は“丹波もみじ三山”の一つとして、高原寺・円通寺とともに紅葉の季節には多くの観光客で賑わいを見せますが、特に石籠寺は11月第3日曜日に足利氏を偲ぶ行事が行われる寺としても知られます。足利氏と石籠寺との関係ですが、1350年10月、開幕以来、“武の尊氏、政の直義”と言われた[二頭政治]を展開していた足利尊氏と弟直義との間に亀裂が生じ、世に言う[観応の擾乱]に発展、翌年1月、直義軍が京都を制圧した際、尊氏の子義詮が仁木頼章・義長兄弟ら部将と京から落ちる途中に一時当山に潜伏したことによります。石籠寺は山号を[岩屋山]と呼ぶように、背後の山中にある石窟(石籠とは石窟のこと)に毘沙門天を祀ったことから始まっており、義詮がしばらく逗留するのには地形上、適していたと考えられています。この時義詮は当山の老僧から貰い受けた丹波栗の一つを手にとって故意に爪痕をつけ、次の歌を添えて植えさせたと言います。

“都をば 出て落栗の 芽もあらば 世にかちぐりと ならぬものかは”

(自分は京を落ちた身ではあれども、いつしかこの栗が成長して芽を出したなら、都に出て天下を取ったものと思っ欲しいという意味) 結局義詮はこの歌の通り、父尊氏の後を継ぎ、幕府2代将軍として都に君臨しました。

■仁王

仁王はもと[執金剛神]という神で、後に「金剛力士」となり阿形・吽形の2体一対で山門の両脇に祀られました。一般的には門をこちらから見て右側に口を開けた阿形像が、左側に口を閉じた吽形像が置かれますが、運慶・快慶の作品で有名な東大寺南大門の場合は、逆の配置になっています。石籠寺の仁王像は鎌倉時代を代表する仏師定慶(最近では運慶の次男が改名した人物とする説が有力)の作品。



石山寺東大門



東大寺南大門

地域探訪⑲

地域の名士 / 萱野三平(1675-1702)



現存する長屋部分

萱野邸(模型)



現存する長屋部分



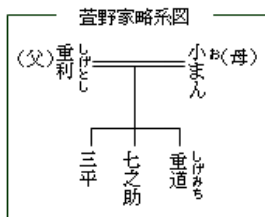
長屋内三平自刃の部屋



萱野三平の墓



赤穂城下にある息継ぎ井戸



国道171号線を北上し、大阪府箕面市[萱野2]の看板のある交差点を右折すると、[涓泉亭]と称する記念館があります。[涓泉]とは赤穂浪士のうち、結局討ち入り前に非業の死を遂げる萱野三平の俳号を指します。赤穂藩主浅野内匠頭長矩が江戸城で吉良上野介義央に刃傷に及んだのは元禄十四(1701)年3月14日のことで、5代将軍徳川綱吉の裁定により、内匠頭だけ即日切腹となったことはよく知られておりますが、「主君内匠頭が江戸城において吉良殿に刃傷におよぶ!」の報で混乱状態にあった江戸の藩邸から国元の赤穂へ知らせるべく第一の急使二名が発ったのが同日午後5時頃で、二名のうちの一人が萱野三平でした。

江戸・赤穂間は675.5km、この距離を三平らは籠を乗り継ぎ、同月19日午前6時、すなわち僅か四日半でたどり着きました。籠というのは長時間に耐えうる乗り物ではないことは容易に想像がつかますが、それを昼夜別無くぶっ飛ばしたのですから到着した時の三平は腰のちょうつがいは外れ、半死半生の状態であったに違いありません。現在赤穂城址近くにはこの時三平らが喉を潤したとされる[息継ぎ井戸]が残っています。また、三平が赤穂へ向かう途中に自邸の前を通過した時、同月17日に死んだ母小まんの葬式に出くわすも、任務が優先と立ち寄らずに赤穂へ向かったという話もありますが、真偽のほどはわかりません。

浪人となった三平ですが、開城当初から連名書に名をつらね、同志の間でも厚い信頼を得ていました。しかし父重利が「息子が義挙に加わるのではないか」との心配をいできて新しい仕官先を執拗に進めた結果、三平は忠義と孝行の間で進退に窮し、ついに元禄十五(1702)年1月14日、主君内匠頭の月命日に自刃して果てました。

萱野三平、享年28。辞世の句は、“晴れ行くや 日ころ心の花曇り”。

苦情相談窓口の注意事項

苦情相談は苦情受付担当者を窓口として苦情相談受付ボックスにて受け付けております。ユニットの介護・看護職員でなく、苦情受付担当者にお申し出下さいますようお願い申し上げます。ご協力の程よろしくお願い致します。



節分と言えは豆の礫(つぶて)にさらされる鬼にむかって、「鬼は外、福は内!」と唱えますが、このように唱えていたことは少なくとも15世紀(室町時代)中頃までさかのぼることができます。ところで、各地の鬼を祀る神社では、「福は内、鬼も内!」と唱えることは願けても、鬼のメッカとも言うべき大江山連峰がある福知山市の[大原神社]の節分会にいたっては、「鬼は内、福は外!」と唱えると言いますから驚きです。